

スペクトラム支持可能性リスクアセスメント (SSRA*)

米国国防総省マイルストーンプログラム承認に必須

Brian Farmer
President, EMC ManagementLtda.

問題

スペクトラム依存 (S-D*) システム入手においてスペクトラム支持可能性を早めに考慮することは、DoD* が通信電子 (CE) 機器や関連する武器システムを開発し、実戦配備する前に、必ず満足させなくてはならない基本的な判断基準である。運用要求事項を満足していてもスペクトラム支持可能性を得ていないシステムを開発または入手することは、米国内または受け入れ国内でそのシステムを動作できないということである。このようなシステムにより、該当システムと他のスペクトラムユーザー間に重大な相互干渉の可能性が生じ、資源を浪費して、ミサイル戦争能力の実戦配備を遅延させる。

「スペクトラム支持可能性」とは、機器をサポートするのに必要な電磁スペクトラムかどうかという審査として定義される。審査には、最低限、機器のスペクトラム証明書を受領、動作に必要な十分な周波数の利用保証を状況に応じて受け入れ国から得ること、電磁的両立性 (EMC)

の考慮が必要である。必要事項の手引きは、DoDI 4650.01 に記載されている。

国防総省には、スペクトラム支持可能性を達成できる追加保証を提供する補完的ポリシー指示書がある。スペクトラム支持可能性と E3 間の相互関係を図1に示す。電磁的両立性 (EMC) を達成し、S-D システムと機器の EMI を防ぐのが相互に関心のあるところで、1番目に重なっている部分が生じる。

スペクトラム支持可能性の重要な性質を理解すること、および DoD 調達事務所がこれを無線周波数 (RF) 送信、受信、制御に関わるシステム計画全てに入れなければならないことを理解するのは重要である。

我々が直面している他の課題および、この情

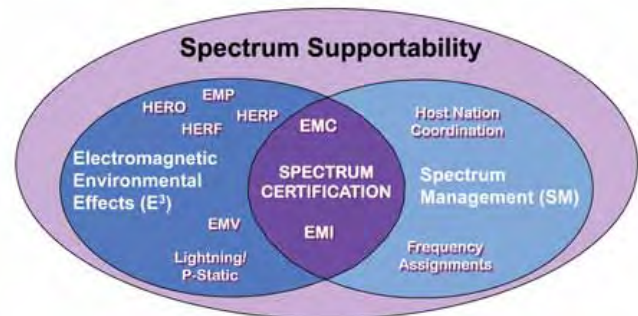


図1. スペクトラム支持可能性と電磁環境影響の重なり

訳者注:

- * SSRA: Spectrum Supportability Risk Assessmentsスペクトラム支持可能性リスクアセスメント
- * S-D: Spectrum-Dependent (スペクトラム依存)
- * DoD (Department of Defense) 米国国防総省